

# 地 域 再 生 計 画

## 1. 地域再生計画の名称

キリスト街道周遊活性化計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

青森県

青森県三戸郡新郷村

## 3. 地域再生計画の区域

青森県三戸郡新郷村の全域

## 4. 地域再生計画の目標

### (1) 新郷村の現状

新郷村は青森県の南部に位置し、東は五戸町、南は三戸町、北は十和田市、西は秋田県鹿角市に接し、東西 22 k m、南北 9 k m、総面積 150.85 k m<sup>2</sup>を有している。このうち約 78%が起伏に富んだ山林原野で、西部は大駒ヶ岳を始めとする標高 1,000m級の山岳を形成し、中央部から東部にかけては丘陵地帯となっていて、畑地として多く利用されている。

また河川は、丘陵をぬって 3 河川が西から東に流れ地域水田を潤し、この河川沿いに 4 2 の集落が散在している。

気候は、奥羽山系のふもとに位置する関係上寒冷地に属する。特徴的な気候は、6 月から 7 月に太平洋からの偏東風（ヤマセ）が吹くことであり、農作物には多大な悪影響をおよぼしている。このような中、村では、「快適で明るく豊かな活力ある新郷」を基本に農林業生産基盤整備・上下水道施設整備・観光基盤整備などを展開し、積極的なむらづくりを行っている。

### (2) 新郷村の課題

近年同地域は過疎化・高齢化・少子化が進行し、過去 5 年間の人口減少率が 7.9%、65 歳以上の高齢者率が 36.7%となっており、地域の大きな問題となっている。

併せて、若者の流出による担い手不足や林道の未整備等により、耕作放棄地や手入れの行き届かない森林の増加、自然災害等への対応が地域の課題となっている。

また、八戸市より秋田県鹿角市まで東西に延びる国道 4 5 4 号は、村の中心部を横断し、南部と津軽を結ぶ最短距離として観光、レクリエーション、経済、文化の発展に寄与する最も重要な路線であり、国立公園十和田湖への観光道路東玄関口としても、交通量が増加しているが、村道とのネットワークが不十分であるため、村内の観光資源が活かしきれておらず、またスムーズな物流の流れに支障をきたしている。

### (3) 新郷村の取組

周辺 8 市町村を対象とする第 3 次八戸地域ふるさと市町村圏計画では、「人、産業、環境が調和した北東北の中核都市圏」を将来の展望とし、創造性と多様性に富んだ地域社会の形成を目指している。

十和田・八幡平国立公園に接する迷ヶ平高原や間木ノ平グリーンパークは、観光、休養、憩いの場として、当地方はもとより、全国的なスケールの自然観光地域として年々観光客も増加している。ここでは、きのこや山菜等の特産品を加工販売する拠点施設も整備しており、観光交流人口の拡大と地域雇用の確保につなげている。

なお、当村を含む県南部地域は、農林畜産業が盛んで、主に林業が地域の重要な産業となっており、農林畜産物生産の拠点的役割を果たしている。

また、ゴルゴタの丘で磔刑に処されたはずのキリストが密かに日本に渡り、この地で没したという伝説にちなんだ「キリストの墓」や、エジプトのピラミッドよりも古いとされる数万年前のピラミッドが日本には 7 基あるとされ、その 4 個目とされている「大石神ピラミッド」は、「歴史とロマンとキリストの里」を掲げる当村の重要な観光資源となっている。

当計画により村道を整備し、国道 4 5 4 号と連携した道路ネットワークを構築することで、各観光施設へのアクセス機能を高め、観光交流人口の更なる増加・拡大へつなげることで観光振興が図られると共に、沿線にある森林や水田への利便性が高まることにより農林業の振興も図られる。また、林道の整備によって、管理の行き届かない森林へのアクセスの改善、通行の安全が確保でき、森林整備の効率化が図られ林業振興につながる。これにより、間伐材等を利用した新たな製品開発や木質バイオマス利用などが促進され、地域の新たな産業振興へとつなげることができる。さらに林道の整備により、平子沢キャンプ場へのアクセス機能や、国道の災害時迂回路機能を持たせることができる。

このように、当計画により村道、林道及びその他各種事業を一体的に実施することによって、「農林業と観光の村」として地域産業の活性化を目指す。

### (4) 新郷村地域再生計画の目標

○観光施設を結ぶ道路整備により、大石神ピラミッドからキリストの墓までの移動時間を短縮し、新たな観光ルートとして観光地同士の連携を図ることにより、観光客の増加を図る。

(目標 1) 大石神ピラミッドからキリストの墓までの移動時間 20 分→15 分

(目標 2) キリストの墓の年間入込客数

17,800 人(平成 20 年) → 20,500 人(平成 27 年 3 月末)

○林道整備により間伐を促進し、間伐材利用面積を拡大する。

(目標3) 20ha(平成20年) → 50ha(平成27年3月末)

## 5. 目標を達成するために行う事業

### (5-1) 全体の概要

村の中心部とキリストの墓、大石神ピラミッドを結ぶ「村道雨池線」の整備により村内の観光施設の有機的な連携を図り、広域的な観光ルートを構築する。また、「林道妙返沢線」を整備し、森林整備の基盤強化を行い、山村地域経済の活性化、更には国道454号の被災時迂回路の確保を目指す。

### (5-2) 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下の事業開始に係る手続き等を了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・村道「雨池線」一道路法に基づく村道に昭和61年6月21日路線認定済み
- ・林道「妙返沢線」一森林法による「三八上北地域森林計画」に登載済み

#### [施設の種類の (事業区域) 事業主体]

- ・村道 (新郷村) 新郷村
- ・林道 (新郷村) 青森県

#### [事業期間]

- ・村道 (平成22年度～26年度)
- ・林道 (平成22年度～26年度)

#### [整備量及び事業費]

- ・村道 3.13km
- ・林道 4.13km
- ・総事業費 900,000千円 (うち交付金 450,000千円)  
(内訳) 村道 300,000千円 (うち交付金 150,000千円)  
林道 600,000千円 (うち交付金 300,000千円)

### (5-3) その他の事業

○地域資源の活用による地域の振興

- ・キリスト祭り

毎年6月第一日曜日にキリスト墓前で行われる祭りで観光客を呼び込み、地域の活性化を図る。(新郷村・新郷村観光協会)

- ・都市住民と農村との交流促進

道の駅「間木ノ平グリーンパーク」、「間木ノ平グリーンファーム」や長期滞在可能な新郷温泉館などの既存施設を活用し、特産物の販売やキャンプ、畜産加工体験学習、湯治場等を通じ、都市住民と農村との交流促進を図る。(新郷村ふるさと活性化公社)

- ・基盤整備の促進

地域活力基盤創造交付金等を活用し、村道「堂ノ上線」を整備し、地域の利便性を高め活性化を図る。(新郷村)

- ・森林整備の促進

森林整備事業を活用し、森林組合等の除間伐施業により、林地の適正管理を図る。(森林組合)

## **6. 計画期間**

平成22年度～26年度

## **7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握すると共に、関係行政機関等からなる検討会を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行い、その結果を広報誌等により公表する。

## **8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項**

無し